

「ふれあい看護体験」を開催しました ～看護を通して地域の人々と交流を深める～

人間健康学部看護学科では、平成21年5月16日（土）に「ふれあい看護体験」を開催しました。この企画は、「看護の日」を踏まえて、看護を多くの人々に周知する目的で行われています。今回は、看護学科の学生がボランティアとして多く参加し、地域の中学生・高校生を対象としてミニオープンキャンパスを兼ねた「ふれあい看護体験」を進行していきました。

52名の参加者（中学生20名・高校生26名・社会人2名・保護者2名）は、初めて体験する蘇生法や抱っこ体験等に熱心に取り組んでいました。アンケートの結果には「先輩達は優しく、楽しい看護の体験だった。先生方も色々説明して下さいありがとうございました」等の記載があり、充実した内容であったと思われます。教員による進路相談についても、「進路相談コーナーでの話がとても良かった」との記載があり、参加者は看護に興味を増した様子でした。今回は新築された看護学科棟での初めての開催で、「ミニオープンキャンパス」の目的も含まれていましたが、参加者は「整備も整っていて、いい環境だと思いました」と評価していました。

学生と教員の協働により開催された「ふれあい看護体験」は、参加した中・高校生に満足を与えた内容でしたが、同伴した保護者からも「とても丁寧で充実した内容に感動しました。素晴らしかったです」との回答があり、意義深い行事を提供できたと伺えました。これからも、看護職の魅力、名桜大学の魅力をドシドシ提供していきますので、次回のオープンキャンパスも乞うご期待！



「抱っこ体験」にチャレンジ！